

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	プロダクションワーク2	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科	コース名	アニメーションコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	6単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回教員が作成した資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	富田 聡		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
昨今、アニメ業界側からの問題提起として「打合せで新人に対し『あのアニメのあの表現』と言った時に全く理解されず、過去のアニメの名作に関する知識が余りに乏しい事が、現場でのコミュニケーションで大きな問題となっている」と挙げられている。アニメブームより半世紀が経つ今日、「アニメの歴史教育」をせねばならない時代に入った。当科目では第2次アニメブーム(「宇宙戦艦ヤマト」)から第3次アニメブーム(新世紀エヴァンゲリオン)までのアニメ作品の中から、特に劇場作品で評価の高かった作品を中心に、時代背景、制作スタッフ、人脈、特筆すべき表現、革新等、作り手の視点で解説を行い、基礎知識を高め、プロの制作者になる人材としての意識向上も目的として多岐に渡り教授していく。また、就職活動リテラシーも併せて教育する。					
到達目標					
年間で30回の授業で名作を紹介するには限界が有るので、厳選した上で、「これだけは知っていて欲しいアニメの名作」の見どころ、名スタッフの表現の伝承、流れを学び、現在の主要スタッフにも繋がるその表現と技術を理解し、知識を備える。 就職活動リテラシーでは、業界、就活等全般にわたって必要な知識を教授していく。					
教育方法等					
授業概要	導入では配布資料を元に時代背景、制作の経緯、メインスタッフ、見どころ等の解説を行う。本編を上映しながら、要所要所で静止、或いはリプレイ、スロー再生等を行い、理解度を高める。本編終了後は、その後の社会的影響や、メインスタッフの活躍、関連作品などを解説し、前後の関連性を結び付ける事で「時代の流れ」を理解させる。就職活動リテラシーではパワーポイントの解説を中心に進めて行く。				
注意点	学生は鑑賞と聴講という「受け身」が大半の授業故に、私語や受講態度(居眠り)などには厳しく対応する。毎回鑑賞後にレポートを提出させる。欠席の場合は個人でレンタルをし該当作を観賞、レポートの提出とする(評価はB～C)。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	レポート	80%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	授業態度	20%	居眠りは2度目の注意で5点減点。スマホ・落書きなど他の行為の場合は発見次第没収、減点5点。		
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	老人Z		('91.9)北久保+APPP(井上、今、沖浦)の魅力を理解する		
2回	劇場版パトレイバー2		('93.8)リアル志向アナログアニメの技術の極致を理解する		
3回	攻殻機動隊		('95.11)IG、押井の名を世界に知らしめた名作の魅力を理解する		
4回	メモリーズ		('95.12)大友原作3部作の魅力を理解する		
5回	劇場版エヴァンゲリオン シト新生		('97.3)第三次アニメブームの代表作の魅力を理解する		
6回	劇場版エヴァ Air/まごころを君に		('97.7)ガイナ+IG 超絶の26話 辣腕アニメーターの競演の魅力を理解する		
7回	Blood the last vampire		('00)北久保+IGの魅力を理解する		
8回	イノセンス		('04)攻殻の成功を受け10倍の予算で作成、OPのCG(ポリビク)等の魅力を理解する		
9回	ストレンヂア		('07.9)ボンズ制作の究極のチャンバラアニメの魅力を理解する		
10回	エヴァンゲリオン 序		('07.9)第三次アニメブームの代表作のリメイクの魅力を理解する		
11回	エヴァンゲリオン 破		('09.6)第三次アニメブームの代表作のリメイクの魅力を理解する		
12回	エヴァンゲリオン Q		('12.11)第三次アニメブームの代表作のリメイクの魅力を理解する		
13回	ベルセルクⅠ		('12.2)窪岡+恩田+竹田+4℃のCGのハイブリッドアニメの魅力を理解する		
14回	ベルセルクⅡ		('12.6)窪岡+恩田+竹田+4℃のCGのハイブリッドアニメの魅力を理解する		
15回	ベルセルクⅢ		('13.2)窪岡+恩田+竹田+4℃のCGのハイブリッドアニメの魅力を理解する		